

公 表 日
平成 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成29年度道の駅機能向上検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 今田 一典 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	平成29年11月10日
契約業者名	平成29年度道の駅機能向上検討業務建設技術研究所・日本みち研究所 設計共
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	11,869,200円(税込み)
予定価格	11,869,200円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	大分河川国道事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成29年11月11日
履行期間(至)	平成30年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成29年度道の駅機能向上検討業務
2. 履行場所 大分県内
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12
会社名：平成 29 年度道の駅機能向上検討業務建設技術研究所・日本みち研究所設
計共同体
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、大分県内の「道の駅」の活性化に向け、地域との連携機能、休憩機能、情報提供機能、防災機能等の観点から、各道の駅の課題の抽出を行うとともに、課題への対応方針及び地域との連携方策について検討を行うものである。

2) 業務の内容

1. 計画準備 1式
2. 現況把握 1式
3. 現地調査 1式
4. 道の駅の活用方策の検討 1式
5. 道の駅におけるインバウンド（訪日外国人客）対応検討 1式
6. 道路休憩施設・防災施設としての道の駅の配置計画（案）の検討 1式
7. 報告書作成 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を28者が入手（ダウンロード）し、6者から参加表明書が提出され、6者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「評価テーマ」は最も優れた評価であり、かつ評価テーマの「道の駅」と地域との連携方策を検討する上での留意点」に対する技術提案について、与条件を踏まえた提案であり、かつ、具体的に整理され、提案内容にも説得力があり、本業務を遂行するにあたって最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第二課長